無印良品
取扱説明書

■壁に貼る転倒防止補助パッド 保存用 （おもて）

この取扱説明書は、必要な時すぐに読める場所に大切に保管してください。本製品は家具を完全に固定するものではなくあくまで簡易転倒防止器具です。設置状況や自身の状況(震度、波形、震源からの距離、地盤等)によって揺れ方が大きく異なりますので大きな地震に対する転倒予防対策としては、市販の転倒防止器具を用いて適切な転倒防止処理を行ってください。
※本製品は、揺れによる転倒を最小限にするのが本来の目的であり、地震などによる食器類の破損や事故に対しての保証は致しかねます。

⚠注意 取扱上のご注意

下記の点について、必ずお守りください。
正しくご使用して頂かない場合、本来の性能を発揮できず、思わぬ事故の原因になります。

「壁に貼る転倒防止補助パッド」（以下本製品という）は、無印良品の収納家具（以下家具という）を通常の仕様でお使い頂くための補助パーツです。
下記以外の家具には使用しないでください。
本製品をご使用に出来ない商品、パーツ、素材について
- ●キャスター付きの商品「木製ワゴン／タモ材」「ＳＵＳ帆布バスケット」など
- ●設置面を確保できない商品「ＳＵＳステンレスワイヤー棚」「ＳＵＳバスケット」など
- ●接着力の劣るポリプロピレン素材（ポリプロピレン収納）、パルプボード素材（パルプボードボックス）など
- ●「壁に付けられる家具」「壁に付けられるシェルフ」

・転倒や揺れを完全に防止するものではありません。(耐震用としてご利用になれません。) 状況に応じて市販の転倒防止器具を用いて適切な転倒防止処置を行ってください。
また、地震などの激しい揺れや製品に寄り掛かったりした場合、はがれて転倒する恐れがあります。ご注意ください。
・状況に応じて市販の転倒防止器具を用いて適切な転倒防止処置を行ってください。
・本製品や補助シートのはがれがないか定期的に点検してください。
地震など振動、衝撃が加わった場合も必ず確認してください。商品特性上、引張るなどの力がかかった状態で放置すると徐々にはがれてくる場合があります。（ご使用時は常に押し付ける力がかかるように設置してください。）
・設置をしたい場所の壁面が、住宅構造上（内装材や壁材など）可能なところかどうかお調べの上設置してください。
誤った設置をしますと、本体の転倒などにより思わぬけがをしたり、周りの家具や器具などが破損したり、傷をつけてしまうことがあります。
下記に示す壁には粘着力が低下するため使用できません。
- ●凹凸の大きな壁、土壁、しっくい壁、クロス貼りのないコンクリート壁、表面のざらつきやけば立ちの大きな壁など
- ●フッ素コーティングをしている壁
- ●珪藻土コーティングをしている壁
- ●防汚処理などの表面処理をしている壁
- ●コットン紙・和紙・織物の壁
- ●可動する壁・ふすま・障子
- ●壁にキズや、やぶれのある個所

・家具の裏面状態を確認し劣化している場合は使用しないでください。
・直射日光の当たる場所や高温多湿となる場所での使用はお避けください。
・本製品は貼り直すことはできませんので、取り付けの際にはご注意ください。
・補助シートを壁からはがすときは、壁材、壁紙が破損することがあります。壁表面の傷や破損が心配な場合は使用する位置を十分ご検討の上、ご使用ください。
また、不明な場合はあらかじめ小面積でテストをしてください。
・補助シートは使用環境により黄変する場合がありますが、性能上問題ありません。
・本製品の適応温度は　－２０～５０℃です。－２０℃以下や、５０℃以上となる可能性がある場合は、使用できませんのでご注意ください。
・通常の使用温度域での耐用年数は、**約４年**です。本製品は化学製品であり、長期使用により下記のような性能劣化する場合があります。
- ●ゲル材の劣化による粘着力低下
- ●ウレタンフォームの劣化による弾性低下
- ●補助シートの劣化による接着力低下

本製品を手で押すなどして、定期的に確認し、接着面がはがれたり、弾性が無くなっていたら、耐用年数以内であっても新しいものと交換してしてください。
・使用する家具は上部に偏った荷重がかかるようなご使用はおやめください。不安定となり転倒する恐れがあります。
・パーツは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。
・各家具の「組立・取扱説明書」及び「取扱上の注意」の注意事項をよく読み。安全にお使いください。
・本製品は製品加工上、ウレタンフォーム(黒)とゲル(緑)にわずかなずれのあるものがありますが機能上問題ありません。
・本製品の設置作業および家具の移動は、安全のために必ず二人以上で作業をしてください。
・本製品は部品特性上、使用環境により色移りする可能性があります。

＜壁に貼る転倒防止補助パッド　注意事項＞

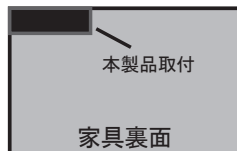
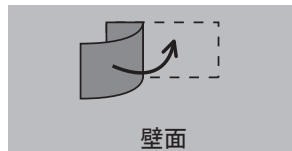
本品は倒れにくくするもので、転倒を完全に防ぐものではありません。

●地震は、地震の強さ、震源からの距離、震源の深さ、地盤などにより揺れ方が大きく違います。
大きな地震に対する転倒防止策としては、市販の転倒防止器具を用いて適切な転倒防止処置を行ってください。
●本製品は、揺れによる転倒を最小限にするのが目的で、地震等による破損や事故に対しての保証はできません。
●壁表面に接着効果を上げるための補助シートを貼りつける必要があります。壁からはがす際は、壁材、壁紙を傷めますので、使用する位置は、十分ご検討の上ご使用ください。

品　名：壁に貼る転倒防止補助パッド
サイズ：約２０×１００×２４ｍｍ
入　数：パッド２個　補助シート２枚
材　質：スチレン系ポリマー（ゲル部）
　　　　ウレタンフォーム（中間層）
　　　　ＰＥＴフィルム（補助シート、離型フィルム）
対応温度：－２０～５０℃

11.08.26

手順

1 家具に付ける

2 壁に補助シートを貼る

3 家具を設置する

詳細

1 家具本体への本製品の取り付け

本製品の表面の離型フィルムの中央ををはさみで切り、ひとつずつに切り分けてください。(図1)

①家具を作業しやすい場所に移動してください。
②家具裏面の本製品取付位置の汚れ（油分、水分、ほこり等）は完全に取り除いてください。
③本製品の離型フィルムを片側だけはがして家具へ貼り付けてください。(※)
（壁側の離型フィルムはまだはがしません。）
※家具の基本的な貼り位置は「家具別紙取付位置」をご参照ください。
(1)上部：家具の上部の両端で家具のできるだけ端に貼ってください。
(2)中間：上下の中間で家具の端に貼ってください。
(3)下部：下側に幅木がある場合は、幅木の上から６㎝上のところに本製品の下側が来るように位置に貼ってください。(図2)
本製品を強く押して家具に圧着してください。

2 補助シートの貼り位置合わせ

①本製品を **1** にて貼った家具を部屋の置く場所へ仮設置します。
注）仮設置する場合、本製品の壁側の離型フィルムははがさないでください。
（ゲルが壁につくと、はがす事が困難です。）

本製品 家具（側面） 補助シートの貼り位置 壁

②本製品を中心となるように壁に補助シートの貼る位置を合わせます。(図3)
<ポイント>●補助フィルムの端から3ｃｍ内側の中央部に本製品が来るように貼ってください。
●壁紙の合わせ目の上に補助シートを貼らないでください。
●補助シートの貼る位置を決める際、鉛筆などで軽くマーキングして頂くことにより貼る位置をより正確に貼ることができます。
●家具の仮設置した位置を床にしるしをつけることにより家具を本設置する場合に補助シートへ本製品をより正確に貼ることができます。
③補助フィルムを貼る位置を決めたら、家具を移動し補助シートを壁に貼ります。
④貼った後、十分な接着力が得られるように手のひらなどで強く押して圧着してください。

(図3) 【(例)ゲル取付が横向きの場合】

【良い例】 補助フィルムの端から3cm内側の中央部分に貼ってください。

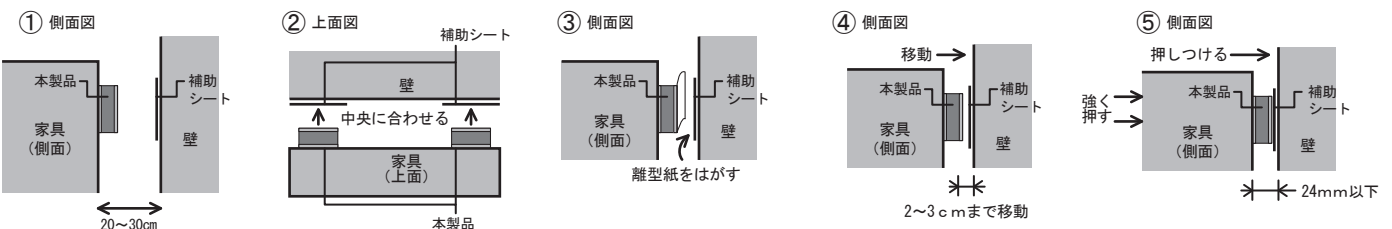
【悪い例】 端に貼る / はみ出して貼る / 斜めに貼る / 縦と横が違う / 壁紙の合わせの上に貼る

3 壁への家具の設置（図4を参照ください）

①壁と本製品の隙間が、十分に保たれる位置まで家具を戻します。
②左右の取付位置を確認してください。
③本製品のゲル表面の壁への取り付け側の離型フィルムをはがしてください。
④家具を壁の補助シートの接着位置に向かって2～3ｃｍぐらいの位置まで移動させ壁へ押し付けるように接着してください。

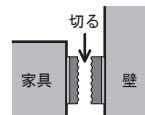
⚠持ち上げるように移動するとずれてパッドが貼り付いてしまう原因となります。
フェルトを家具の底面に付けるなどしてキズ付かないように移動させてください。

⑤家具の取付をそれぞれ数回強く押し、本製品が十分に固定されているか確認をお願いします。
●家具と壁の距離（隙間）は本製品全体の厚み以下になる様に設置してください。（本製品の厚み約24mm）
※それ以上あるとしっかり取り付けられない可能性があります。

図4 壁への設置手順

⚠注意 取扱上のご注意

[本製品のはがし方]
本製品を設置後、家具を移動する場合、または間違った位置に貼った場合のはがし方

①カッターナイフなどで黒いウレタンフォーム部分を切断してください。
（刃物の扱いには十分に注意してください。）
②壁の補助シートや家具からから本製品をはがします。
●本製品をはがす際、ドライヤーで黄緑色のゲル部分を軽く熱を加えながらゆっくり引張り、徐々にはがれてくるのを待つようにしてはがすと比較的相手への損傷が少なくはがすことができます。
（ドライヤーで熱を加える場合は熱いのでやけどに注意してください。ドライヤーは３０㎝ほど離して使用してください。）
※無理にはがすと壁や家具を傷める場合があります。ゲルをはがす際、片手で家具や壁面の補助シートをおさえながら行ってください。
補助シートは、はがす際、壁材、壁紙を傷めます。はがす際には十分ご注意ください。

11.08.26

基本的な貼り付け方

①高さ　８０ｃｍ未満　一列につき１個貼る（上）　※上：家具の上部両端につけてください。
　　８０ｃｍ以上　１３０ｃｍ未満　一列につき２個貼る（上下）　※下：下の幅木を避ける高さにつけてください。
　　１３０ｃｍ以上　一列につき３個貼る（上中下）※中：真中に位置するようにつけてください。

②家具本体の両端に必ず貼る（上下、左右）

③大型家具や家具を連結して使用する場合
縦一列間の間隔が８０ｃｍ～１００ｃｍになるように貼る
※ただし背板のある大型（スタッキングキャビネットの連結、木製カップボードオープンタイプ大)については左右の両端一列と中央上部に設置してください。

◆スタッキングシェルフ（ワイド含む）単品

基本セット　6個　←横向き　←縦向き　←縦向き

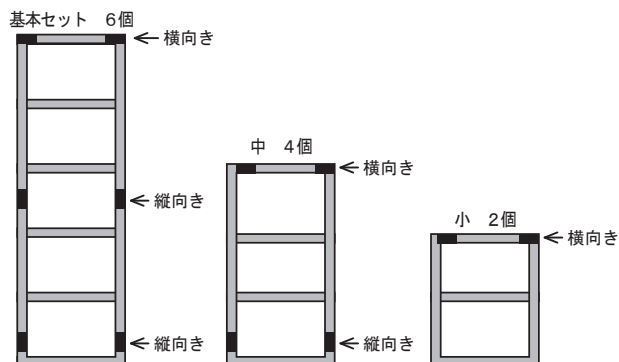
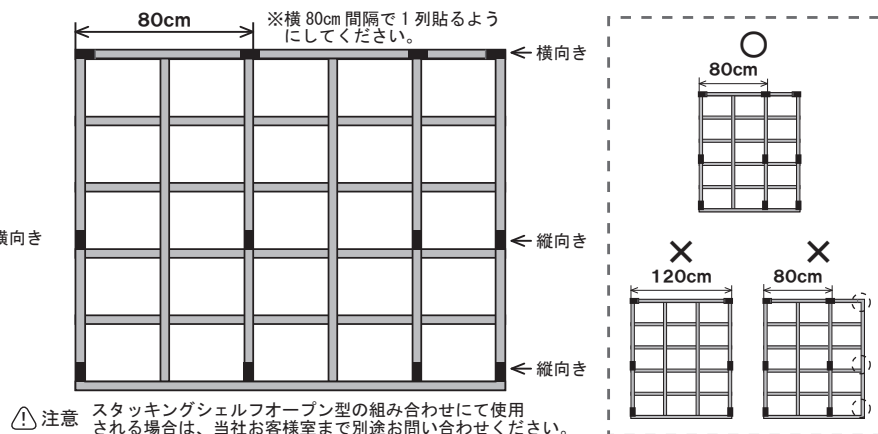
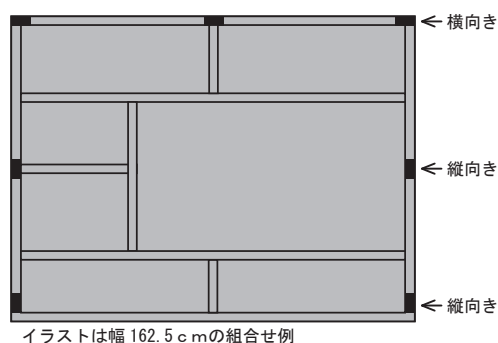
中　4個　←横向き　←縦向き

小　2個　←横向き

スタッキングシェルフ組み合わせ

⚠注意　スタッキングシェルフオープン型の組み合わせにて使用される場合は、当社お客様室まで別途お問い合わせください。

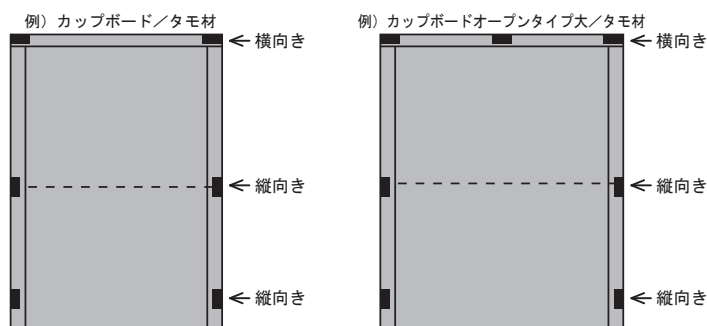
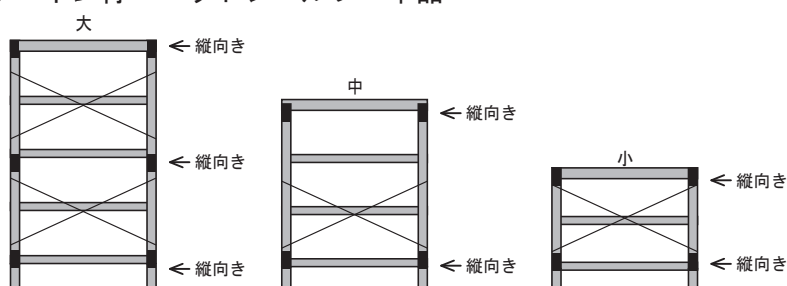
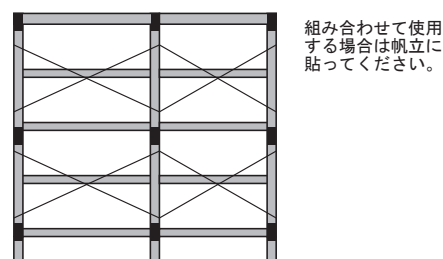
◆スタッキングキャビネット

イラストは幅 162.5ｃｍの組合せ例

◆木製収納

⚠注意　木口に貼れない場合は背板に貼ってください。

◆パイン材ユニットシェルフ　単品

組合せ例

組み合わせて使用する場合は帆立に貼ってください。

◆スチールユニットシェルフ　ステンレスユニットシェルフ

⚠注意　※すべて横向きにして、端部のフックやネジを避け棚板部分へ貼り付けてください。
※クロスバー中心にある固定用の袋ナットは、内側に向けて固定してください。
（外側に向けてあると壁へ取り付けの際に緩衝する恐れがあります。）
※組み合わせとして連結して使用する場合も単品と同じ位置へ取り付けください。
（連結する箇所の帆立やフック部分にはつけないでください）
※キャスター、ワイヤー棚、バスケット類、ポリプロピレン棚を使用している場合は使用できません。
ご注意ください。

組合せ例